

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おりーぶ武庫之荘		
○保護者評価実施期間	2024年 12 月 10 日		～ 2024年 12 月 29 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	2024年 12 月 10 日		～ 2024年 12 月 29 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 1月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人の特性に応じてプログラム(個別・集団)を考え取り組んでおります。	個別支援計画に沿ったSST訓練等を週に一回は行えるよう取り組んでおります。 お子様同士が関わる機会を増やし、その中でのコミュニケーション練習であったり、その他イベントを通じて社会性が身につくよう取り組んでおります。	プログラム立案には、更に多くの意見やアイデアが出せるような環境整備を行って行きたいです。
2	屋外活動等も取り入れながら、様々な経験が出来るようにしています。	土曜日や長期休み等を利用して施設外学習なども取り入れ、公共でのマナーを知ったり、お金の払い方を学んだりと様々な経験が出来るよう取り組んでおります。	今後、お子様たちが考えたプログラムなども取り入れられるよう機会を作れたらと考えます。
3	視覚支援を行うことでよりわかりやすく	日々のスケジュールなどを視覚し、確認後次の行動に取り組めるよう工夫しております。 片付け棚と遊具にそれぞれ色つきのシールを貼り、どこに何を片付けたらよいかをわかるようにしております。 声の大きさの表や手洗いの仕方の絵等も貼り付けて直ぐに確認が出来るようにしております。	片付けのなど、わかりにくいお子様に向けた視覚支援を更に行って行けたらと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動などがなかなか行えない状況ではあります。	建物が2階構造で、その2階部分が住居となっているためあまり大きく動くことができない状態です。	風船などを利用したそこまで激しく動かさず体を動かせる方法を考えてと思います。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おりーぶ武庫之荘					公表日	R6年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点等	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			活動に応じて利用スペースを分けております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			利用定員やお子様の状態などを考慮しながら職員は通常3人から4人、多い時で6人配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			室内は全てが横つながりとなっており、移動しやすい空間となっております。視覚的にわかりやすい構造化、手順書等を見やすいところに掲示しております。玄関やトイレには長いとついてもついております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			食後には必ずアルコール消毒を行い、毎日の清掃・週末には遊具の除菌を行っております。お子様たちの活動に合わせてスペース分けも行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			個別対応が出来る部屋をご用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			業務を行う中で気になること等があれば、都度職員間で話し合いを行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			毎年、同じような時期に評価表をお配りし、頂いた内容を検討致しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			業務を行う中で気になること等があれば、都度職員間で話し合いを行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		現段階では第三者による外部評価を行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			外間研修参加を積極的に支援しております。内部研修も必要に応じて行っております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1		7	スタッフの方々との話し合いながらプログラムを作成しております。	どちらに公表されているのかをお伝えしているかと思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			アセスメントを行ったうえで、お子様保護者様のニーズを取り入れながら計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			日々の様子は職員間で共有を行い、個々のお子様に沿った支援をチームとして検討しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			支援計画を職員間で共有できるように環境設定を行っております。計画に沿った支援が行えるよう取り組んでおります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			8	日々の行動を観察などを行いながらインフォーマルアセスメントは行っております。	ツール等を用いたフォーマルアセスメントに関しましては、今後検討していきたいと思っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			ガイドラインの内容を踏まえながら、保護者様・お子様のニーズに合わせた個別支援計画を作成しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			職員の方々のアイデアを取り入れながらプログラム作成を行っております。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			お子様たちの特性を考えながら必要なプログラムを工夫するようしております。			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			お子様の発達段階に応じた個別・集団での課題をみつけ支援計画に反映させております。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			その日の利用者に対する支援内容などを確認。連携して支援が行えるよう努めております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			利用者様の帰宅後職員間で情報の共有を行い支援の振り返りを行っております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			日々個人記録を作成し、支援の検証・改善に繋げております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			基本的には半年に一度のモニタリングを実施し見直しを行っております。それ以外にも必要があれば保護者様との情報共有を行い見直しを実施しております。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			ガイドラインに沿った内容で支援を行っております。		
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			日々の活動やイベント等で自己決定が行えるよう支援を行っております。		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			参画を行っております。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			契約時にかかりつけ医などの記載をお願いしております。必要があれば連携がとれるよう体制を整えています。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			下校時間や行事予定等、送迎時の対応などは主に保護者様との情報共有となります。必要に応じては、送迎時やお電話をでのやり取りを行い情報共有をさせていただいております。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			必要に応じてご連絡をし、情報の共有をさせて頂いております。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	7			現段階で就労支援等に移行するお子様がいらっしゃらず、今後そのようなことがありましたら情報の共有をさせていただきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		2		必要に応じて連携を取らせていただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8				保護者様のご要望もあり、現段階では他のお子様との交流する機会は設けておりません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8				可能な限り参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				連絡帳で日々のご様子をお伝えすると共に送迎の際にもご様子や状況をお伝えしながら情報の共有を行っております。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8				適時、お電話やLINE等で情報の共有を行いながらお気軽にご相談頂けるような環境作りを心がけております。	ご家族の方が参加できるような研修などの情報提供を行えるよう検討していきたいと考えております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				ご契約時にご説明を行い、質問などがありましたその都度お答えしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				ご本人や保護者様のニーズをお聞きし、それに基づいた支援計画を作成しております。また、更新時期等新たなニーズを伺いながら作成を行っております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				支援内容の説明を行い、保護者様から同意をしていただいたうえでご署名をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				必要に応じての面談やその他にもお電話等でご相談を受け付けており、支援方法等のご提案をさせて頂いております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8				父母の方が交流していただける会のご案内をいたしました。	今後も定期的に会のご案内を行って参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				ご契約の際、重要事項説明書に苦情に関する相談窓口や第三者窓口等についてのご説明をしております。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			予定表等に関しては書面でお渡しをしております。また、HP・SNS等を活用しながら情報発信を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			ブログや動画等では、個人が特定されないよう取り組んでおります。また、個人情報が記載された書類等は鍵付きの書庫に保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			お子様や保護者様が理解しやすい言葉かけを心がけております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		就労支援が地域周辺で行っているフリーマーケット等への参加を行っております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			それぞれに対応した研修や訓練をおこなっております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			火災、地震、津波等、その時々災害を想定して、年3回訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			事前に確認をし必要なことを行っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			食物アレルギー等に関しましても、事前に保護者様へ確認を行い、必要な対策を講じております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			職員研修や必要な訓練等を行っております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			災害等が起こった際には、どちらへ避難するか等を書面にてお伝えしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			ヒヤリハットが発生した時には報告書を作成それをもとに再発防止に向けた方策を検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			虐待を防止するための職員研修を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			身体拘束についての職員研修を行っております。	現段階で身体拘束を行う事例と言うのはございませんが、もし今後そのような事例がおきましたら手順に沿って対応したいと考えております。	